



社会福祉法人 薄光会 広報紙

ま ら め き[★]



東京湾より富士を望む(平成 21 年 1 月 3 日撮影)

第18号

各施設ホームページには、法人ホームページからアクセスしてください。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~hakukou/>

各施設のホームページにメールボックスがあります。ご意見、ご感想をお寄せください。

平成 21 年 2 月 20 日

社会福祉法人 薄光会 広報委員会発行

本部、豊岡光生園：〒299-1742 千葉県富津市豊岡 3535-1

TEL 0439-68-1711

三 芳 光 陽 園：〒294-0825 千葉県南房総市上堀 280

0470-36-3211

鴨川ひかり学園：〒299-2854 千葉県鴨川市代 1297

04-7099-3311

湊 ひ か り 学 園：〒299-1607 千葉県富津市湊 934-18

0439-70-6551

ケアホームCOCO：〒299-1616 千葉県富津市海良 92

0439-67-3380

『俺は待つてるぜ』

職を失ったまま新年を迎えた人達が、仕事を求めてハローワークに列をなしているそうだ。新聞紙面でふと目に留まったのは、四年前に福祉施設の仕事を辞めた男性の記事。求人広告でたまたま見かけ、工場での派遣作業に応募。昨年十一月に突然解雇を言い渡され、その後を追い出された。野宿をするが所持金がゼロになり、ハローワークに駆け込んだという。彼が福祉施設を退職したのは、人間関係が労働条件の悪さか定かではないが、福祉関係に従事する者の離職率が高い。

厚生労働省の調査によると、今年度に医療・福祉産業へ就労した大学卒初任給の平均は十九万二千七百円。全産業平均が十九万八千七百円なので六千円少ない程度。短大や高校卒の初任給も平均より若干低い程度だ。これが福祉従事者に限れば、年数を重ねれば重ねるほど、同世代他業種に勤めている者と給与の差が開いていく。

聞いた話だが、昔は今より安月給で「食べていけないので」と結婚を期に転職した人もいたらしい。従事者の待遇は徐々に良くなったが、国は財政破綻の一步手前となり、やがて財源不足を理由に福祉予算が削られていった。

良い人材が集まれば、サービスの質が向上し、利用者により良い支援を提供できる。けれども報酬単価の引き下げに、そして県単独補助金のカットに、事業者の多くは職員のパート化を図り、業務委託を導入し、人事評価制度を取り入れて支出を抑えていった。それでも減収防止の決定打とはならない。報酬が日払い方式となったことに伴い、職員の休みと給与を減らし、赤字の解消をした。これが更に職員の待遇悪化の一因となった。

「福祉は3K職場」と福祉を目指す高校生が激減し、福祉系の学校は定員割れを起し始める。加えて条件の悪さに魅力を感じず、専門教育を受けた学生さえも敬遠して一般企業へと流れ出す。これがいつそ人材不足に拍車をかけた。

ここ数年の福祉業界は、まさに『景気が良ければ人は来ず、景気が悪けりゃ金も人も来ず』の状態だった。このままではまずいと、国もようやく重い腰を上げ、福祉の担い手確保の手を打ち始めた。昨秋時点では、障害福祉サービス従事者の賃金を月額二万円程度上げるために、大幅な報酬単価アップが期待されたのだが……。

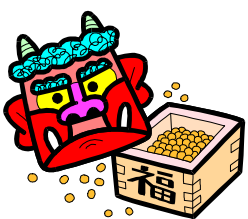
喜びもつかの間、襲ってきた金融不安。景気予想はしばらく雨が続くらしい。となると、労働者

の来年度の年収は減少すると推測される。初任給も同様だ。百年に一度と言われている経済危機は、福祉の担い手の確保や待遇改善のための財源を泡と消してしまふのだろうか。

新しい報酬単価や加算の額が具体的に決まってくるのは二月か三月になるそうだ。それまでは良い夢を見させてもらおう。淡い期待を持ちながら。

ここまで長々と書いてきましたが、何のことはない。結局言いたかったのは、職員募集のことなのでしょう。福祉の仕事はやりがいがあり、人の為になる仕事です。しかしながら当法人も求人への反応は、ここ数年芳しいものではありません。もちろん事業者は、職員の待遇改善に努め、より魅力ある職場をつくる必要があるでしょう。多くの若者が福祉の仕事に就いてくれることを期待しています。やる気のあるあなたを待っています。

(栗原)



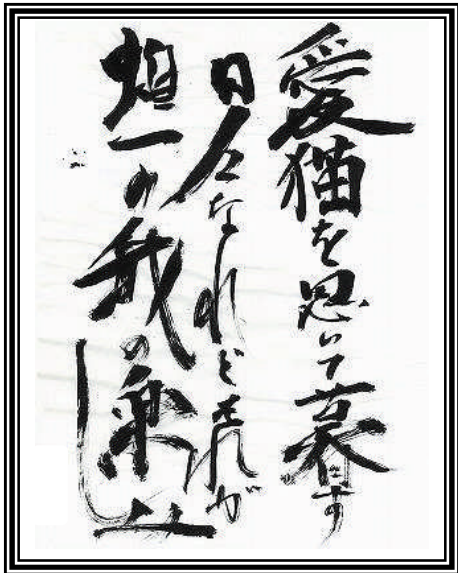
光陽

「楽しいクラブ活動で生きがい支援を」

今年度から、お年寄りの皆さんの楽しみが少しでも増えればと思い、クラブ活動を始めました。内容としては、書道とフラワーアレンジメントは園内にて、囲碁サークルとダンス教室は外出支援にて実施しています。

書道クラブは、以前から毎月お世話になっているボランティアの方々に相談して実現しました。参加メンバーは七人程度です。

今はその月ごとに季節感のある言葉の手本を用意し、練習しています。学校の先生の経験のあるヒメさんは、自分の人生観や今の心境を得意の行書でスラスラと書き綴っています。その上手さには感心させられます。



フラワーアレンジメント教室は一回目を昨年の暮に行いました。

参加メンバーは女性ばかり十名。館山市船形の『フラワーストップはらだ』さんにご指導いただき、正月用の生け花を行いました。それぞれ、個性のある作品を仕上げました。玄関とリビングスペース脇の廊下で、お正月のお客様を迎えてくれました。



外出支援の囲碁は、以前に紹介した徳さんが館山市のコミュニティセンターで行われている囲碁同好会に参加しています。同好会では一番上のAクラスで、同じレベルの有段者と対局されています。私が途中で缶コーヒーを渡しても、飲むのを忘れて集中しています。もちろん今後も外出支援は継続しますが、当園に来園しお相手下さる有段者の方も、随時募集しています。

最後にダンス教室ですが、仲の良い同部屋の方三人で館山に通い始めてもう七か月がたちました。毎週木曜日の昼食後に出かけ、とても充実した顔で帰ってきます。上達のほどはわかりませんが、あの顔を見ると、生きがいを支援していくって、こんなところから始まるのかなと感じます。

これからも、お年寄りの皆さんの笑顔がたくさん見られるよう、声や要望を聞き、ボランティアの皆さま方のご支援、ご協力をいただきながら、ケアマネージャーとして、微力ではありますが生きがい支援をしていきたいと思っております。

中村 健二

『鈴木 栄文庫』



三芳光陽園のホームページに、故鈴木理事長の書籍三冊を復刻して掲載しました。

障害者や高齢者を取り巻く制度が目まぐるしく変わっています。福祉が福祉でなくなってしまうような時代です。自分は、この三冊の本から、こんな時代の福祉を、施設の運営を考えてみようと思います。皆様もぜひ一読ください。

施設長 神谷 亨

学園新聞

孫

「散歩名人と皆の願い」

「おはよう！ 散歩あっかな？」

今日もまた、にっこり笑顔でとよさんがやって来た。散歩が大好きなとよさんは、いつも決まってこの言葉から一日がスタートする。

地域活動支援センターでは、健康維持を兼ね、出来るだけ散歩に出る機会を作るようにしているが、とよさんはひと味違う。四季折々の風景や、雲の形、すれ違う人々、目に映るもの全てに興味津々。だから、歩くペースもいろいろで皆から少し遅れてしまう事もあるけれど、心から散歩を楽しんでいるのだ。まさに散歩名人である。とよさんと一緒に歩いていると、いつもの散歩コースも何だか違って見えるから不思議だ。

そんな、散歩を楽しんでいるとよさんが、ふと曇った表情になる時がある。「あー、あれー」と、指さす先には・・・

悲しい現実、ゴミなのです。空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻、お菓子の袋・・・

「気持ちよく散歩を楽しみたい！きれいな町にしたい！」だから、時々皆で「ゴミ拾い活動をするのです。」

「お願いです。ゴミをポイ捨てしないで下さいー！」これは、利用者・職員皆の願いです。

「おはよう！散歩あっかな？」明日もまた、にっこり笑顔でとよさんがやって来る。

(山崎)



「春夏秋冬★笑顔満開★」

私が湊ひかり学園に来て、早いもので約十ヶ月が経ち、今こうして冬を過ごし、四季が巡ろうとしている。

約六年ぶりに、故郷での生活を送ることを決め、縁あってか、地元のひかり学園で働くことになった。

東京での暮らし、仕事に比べると、のどかで穏やかな時間が多く、学園の名前の通り、ここにいると、目を細めたくなるほどの眩しい光を感じることもある。春には、満開の桜を見に佐久間ダムへ。梅雨には、薄曇りの空の下、艶やかに咲く花菖蒲を見に袖ヶ浦公園へ。夏は、畑で大きな向日葵が誇らしげに咲き、秋には、もみじロードの鮮やかな紅葉と青空の見事なコントラストを背景に、みんなで記念写真を撮った。

そして冬。厳しい寒さにも必死で耐えているクリスマスローズが、園庭でひっそりと花を咲かせている。四季折々の花が咲き、房総の豊かな自然と、季節の移り変わりを感じるができるひかり学園だけれども、たくさんの四季折々の花の中で、ひとつだけ、どの季節でもどんなときでも、決して枯れない花がある。それは、笑顔という名の花だ。

ふとした瞬間に、まるで一輪の花がパッと咲くかのように笑う、みんなの顔を見ると、不思議なことに幼い頃を思い出す。ただ嬉しくて、楽しくて、心の底から笑っていたあの頃。いつのまにか、愛想笑いや営業用スマイルといったものを覚え、身につけてしまった自分だけでも、自然で無垢な笑顔は、こんなにも相手の心を掴むものなのだということ、この年になって改めて教えてもらった。

みんなの笑顔には、かなわないかもしれないけれど、どの季節にも枯れない笑顔の花を、いつまでも咲かせていたい、そう思う。

(渡辺)



鴨川ひかり学園

ひかり通信

『クリスマス会で嬉しかったこと』

地元全地区八名の区長さんが来席下さったこと。

散歩寄りの道先の銀河屋さんと、曾呂小五年生とを招き、米粉のお菓子を作れたこと。

案山子コンクールに七つも入賞し、景品の米を給食委託先のメフォスさんに買い上げて戴いた代金でビッグサンタ人形を購入して野外装飾アピール出来たこと。風で手を振ってるように見えて、散歩に出かけたり、帰って来る時にみんな喜んで、人形と挨拶してたこと。

イオン社会福祉基金からのプレゼントのお礼として呼びかけたペットボトルキャップ回収参加で三千八百個も集まったこと。

小学一年生以下が半数のイオンチアーズクラブやジャスコうさぎ着ぐるみのダンスが何とも微笑ましかったこと。



一昨年夏祭り以来三回目来園となるtakamiさんが一歳半の紗和ちゃん共々ファミリーで、素敵なライブとパーティーの雰囲気andraけて下さったこと。

案山子コンクールが縁で、みんなみの里レストランスタッフと地場産ケーキを創作。長狭米米粉と地場新鮮卵のシフォンに地場フルーツ、シユガーデコレーションでパーティーイメージカラーのピンクを表現。

一歳半の紗和ちゃんも、七〇歳代のお客さんも、流動食対応の方はクリームだけでも、幸せを味わえる優しいケーキが出来たこと。

アンパンマンサンタに紗和ちゃんがキスしてくれたこと。



様々な屋内外装飾を利用者さんとタイアップして作り上げたこと。それを通して色々なアプローチの可能性をいっぱい発見出来たこと。

学園活動を通して得た縁をプレゼント等で活かされたこと。今後の活動に活かせる縁やアイデアがたくさん見つかったこと。

東金の事件では、当初「精神遅滞」という言葉を使ったりと、報道の在り方にバッシングや違和感を覚えました。バッシングに対抗する一番の手立ては、地域の方々が味方であってくれることだと思います。だからこそ今回のクリスマス会で得た外部の方々との接点は大切にしていきたいかなければなりません。

(住本)

【郵便事業株式会社年賀寄附金配分事業】

このたび「郵便事業株式会社」の年賀寄附金配分事業の助成を受けて、鴨川ひかり学園利用者送迎・外出用車両としてワゴン車を整備することができました。郵便事業株式会社及び寄附者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

事業名 送迎・外出用車両の更改造業
事業内容 日産キャラバンコーチ

スーパードX十人乗り

総事業費 二百四十五万五千五百三十円

補助額 百二十六万円

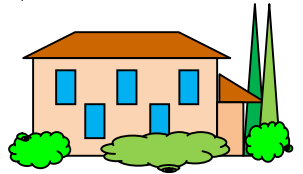
施設名 鴨川ひかり学園

完了 平成二十年十一月十七日



人間、予想以上に「多面体」

— ケアホームのお泊り体験から —



昨年の十月から豊岡光生園の利用者たちは、四泊五日の日程で、入所利用者六十人全員、ケアホームでのお泊り体験を行なっています。新年度四月から開設される予定のケアホーム「勝手の家」でのチャレンジです。小人数で、慣れない環境での生活なので、思わぬできごとが起きたり、それらを切り抜ける利用者の力に感動したり、帰省したときの実家での様子や改めて想像できたり、日頃の利用者に対する思い込みを、職員は反省させられたり、利用者にとっても職員にとっても、これからの生活や「支援」を考えていくための重要なチャレンジになりました。このお泊り体験は今、二順目、一部四順目に入っています。今日は様々な出来事からほんの少し、ご紹介してみましよう。



(一)

佐藤裕之さんはあまり眼が見えません。だから自分の領域内に踏み込まれるのを非常に警戒して、時に他人を突き飛ばしたりして乱暴に振舞ったりするのです。ところが、「勝手の家」では最初から警戒を解いているのです。実に穏やかにしています。もともと陽気な青年ですが、態度にも笑顔にも柔らかさが満ちていました。ああ、この「空気」こそが大切なのだ、



実感させられました。それから、驚いたのは、彼の順応性の高さでした。初日に彼は文字通り「勝手」が違つ浴室に一步も入れませんでした。けれども、二日めで浴室に入り、体を洗い、三日めには湯船にとっぷり浸かってパシャパシャ遊んでいました。その日以来、彼は、日中の活動を終えて「勝手の家」に喜び勇んで戻るのです。

(二)

大谷さんは、鵜の眼鷹の目でみられています。毎日のように園の事務所や職員室に忍び込んで「コーヒーなどを失敬しているからです。」「冷蔵庫開け放題、糖尿病の気があるし・・・」と話題沸騰。ところが、お泊り体験中、冷蔵庫を開けて覗く仲間の「取締り役」に徹しているではありませんか。「どうなってるの?」(そっと教えちゃいますね。夜中の三時に音も無く部屋から出てきて辺りを見回した大谷さん、お泊り体験期間中ずっと泊っている園長と眼が合って、作り笑いをして部屋に音も無く戻ったそうですよ。)



(三)

政章さんは、その昔、両親の住む「勝手の家」の前身の世帯者寮に定期的に帰省していました。ですから、勝手知ったる我が家と思って入ったのですが、改築されて自分の居場所だった和室が無くなっていて、(えっ、違っ!)と感じたのでしよう、苛々し始めました。けれども、やはり昔の雰囲気が残っていたのでしよう、ゆったりとした気分を取り戻すまでに長くはかかりませんでした。ソファで寝そべり本当に良い顔をしていまし



た。しばらくして「ああああ」と抑揚のついた声を発しました。園長が応えると、トイレに向ったのです。彼とは付き合ひの浅い私には初めての光景でした。それが偶然でないことは午前二時に思い知らされました。寝静まったはずの部屋の中から「ああああ」とまた声が出ます。「よし」と部屋に入ると私の顔を見ますが、起きません。そこへ園長が・・・彼、むくっと起きたのです。お前では役不足だと言われたように思いました。園でこれほど明瞭に政章さんの意思を聴けているでしょうか。彼は実に良く周囲を観ています。(俺もいるぞ。忘れるなよ)とグルグル回ってアピールするのです。私は、考えさせられました。

(四)

面白かったのは美佐子さんと志保里さんです。二人とも性格的にケアホームを好きになるだろうと思っていました。ところが違った反応を返してきたのです。小人数の生活で、余裕を持てる職員は、園長の厳しい指摘もあって、見守り、待つてあげるこの重要性を改めて学びました。自発的動作や意思を大切にしました。その変化に彼女たちはストライキを起こしたのです。これも明瞭でした。(職員でしよう。やってよ! 自分でやらなきゃならないケアホームは嫌い)と主張するのです。職員は、いつの間にか生活支援ではなく、一方的介護(お世話)をしていたようです。

* * *

今、職員は「人が生きること」を深く考え始めています。「気づき」は「学び」なのだ。(小滝)

COCO de COCO



【MOMOMO住民会議】 〇月×日（土曜日）

晴れのち曇りと思ったら時々雨

—職員放談 風めじつじつある。の巻—

本日、職員が千葉へ研修出張につき、不肖鳥居がバックアップに入る。夜勤者と午前九時交代。千代さんも早起きし、食事も摂った由。特段の変化無しと。引継ぎ後、さっそく住民会議を開催す。議題は、本日の昼食を如何せん。



- ①きょうは、面倒なので、お昼御飯は無し。
- ②カップラーメンで済ませる。
- ③ポテチとコーヒ
- ④お饅頭とお茶
- ⑤皆で作る。

①④は、ねじれ国会もなく、即否決。大多数の委員が、予想に反して⑤の「皆で作る」案に賛成の挙手。鳥居を除き全会一致。続いて尚子委員が発言。「らーめん」とのみ、ぼそり。この重い発言に、賛同者多く、途中、「お寿司」の動議があったが、これは、鳥居の職権乱用的裁定で却下され、ついに、本日の昼食は、「らーめん」を皆で作ることに住民会議は議決するにいった。

冷蔵庫には目立った食材が卵一個だったため、九時四十分、鴨川方面に買出しに出発する。近場でも考えたが、食材が豊富で、広く、皆に種々の発見の機会を増やすには好都合と判断、ショッピングモール「ベアシアへ」。「おやつも買おう」と、しきりに促すも、皆、遠慮してか、ポテチに

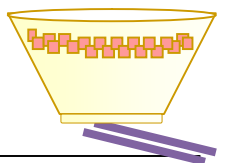
さえ、手を出さず。野菜、生らーめんなどを購入、帰路につく。

十一時三十分、鳥居料理教室開講。

本日の「調理事業計画」は野菜大入りのタン麺とサラダ。下ごしらえから始めるも、皆、TVの前でくつろぎ、昼食を待ち、「私食べる人、お前作る人」の旧体制の人になっている。為に、鳥居、やや大きめの声で訓示をたれた。

曰く、「だが為にメシはある。」「本日の昼食、この一戦にあり。各員いっそう奮励、努力せよ！」皆、駆けつけて、以後、ちぎる、切る（包丁、切れねーなあー）、開ける、かける、混ぜる、盛り付ける、煮る、炒める、沸かす・・・と八面六臂の大活躍。手を出さざる者なく、出来る事を出来る範囲で奮闘遂行。滴り落ちる汗、飛び散る食材。

「気合だあー！ 気合だあー！」 「うん？ さらいだー？・・・でねえよ。気合だあー だっぺよ」 らーめんのどんぶりがないので、園から特別輸送・補給してもらい、ついでに、らーめんの最後の盛り付けの「後方支援」を依頼。仕上げはもちろん、皆の手で、チャーシュー一枚、コーン大さじ一杯、それぞれ乗せ、完成。名づけて「鳥居風豊岡らーめん野菜大入りタン麺」。奮闘二時間。北京オリンピックのような「やらせ」も無く、「ロパク」も無し。全員の団結の勝利。「すすめえ、すすめえ、われらが同志・・・。とにかく、見た目はりっぱ！ 中身は不明？ いやいや、麺のゆで加減が今一だったけど、（百二十数えるつもりで、途中で電話あり。二百四十くらい数えち



やったかもな)。でも、旨かったでえ・・・。このあと、鳥居はグロッキーに。気づくと、皆で後片付けが済んでおり、す、すごい。バッチグーよ。これが、たいした、たまげた。いつの間に。しかーし、である。ちよっぴり、一つ気がかり・・・。少し、いや、だいが「大盛りラーメン」になった気がする。いや、確実に大盛りになった。あああ。「ぼく、しーらねえとー！」

もうすぐ、職員が帰ってきて、交代の時間だ。何人かは、太りすぎ注意って言ってたっけ。ああ。「本日、天気晴朗なれども波高し。」

鳥居



閑話休題

*MOMOMOの千代さんがこの頃、張り切っている。ホームでの朝食準備の手伝いと、園の玄関前清掃を任されて、皆に感謝されているからだ。早起きもできるようになった。自分の立ち位置を自覚できて、自分本位でなく、他者が見えるようになってきたのだ。この間、正月帰省のおり、実家の台所で「私が準備しようか？」と言って、父親を感激させたそうだ。「なにせ初めてなんだよ」 父親の目がうれし涙で光っていた。*こちらは「のどか」の夕紀子さん。料理が好きでもお手伝いしているの？「と聞くと、「いいの、いいの（お母さんがやるから）」と割り切っている。

☆ 祝 成人 ☆

百恵さん



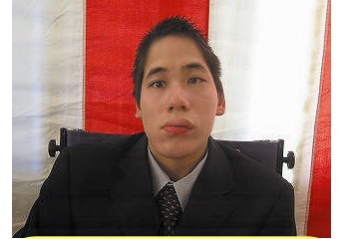
普段は、可愛い百恵さんもこの日は、顔も髪の毛もお化粧してすっかり大人の女性に変身！！これからも素敵な笑顔を忘れずに★

進吾さん



キュッとネクタイを締めて……。すっかり大人の雰囲気をかもし出しましたよ！！

康之さん



すました表情でパチリ！！緊張してる？いえいえ！大人の自覚ですよなっ（笑）！！

湊ひかり学園

深生さん



にっこり笑った顔がとってもキュート♥これからも眩しい笑顔を絶やさずに……。

彩乃さん



大人への第一歩☆これからも周りの人に気づかう優しさと明るさを忘れずに！！

孝将さん



ご成人おめでとうございます！！
きまってるう～☆

鴨川ひかり学園

鈴木友佳さん



お母さんとおそろいのパンツスーツでお祝いをしました。
おめでとうございます。

豊岡光生園

今井 徹さん



成人おめでとうございます。いつも明るく元気な徹さん。これからも素敵な笑顔を皆にみせて下さい。

佐藤裕之さん



成人おめでとうございます。『成せばなる』の精神で、いろいろな事に挑戦し生活の広がりを体感して下さい。

【編集後記】

人生で最初の大きな節目となる「成人の日」。

今年は九名の利用者が成人を迎えられました。おめでとうございます。（写真は本人、保護者の承諾を得て掲載しています。）